

さわやかな新緑の季節を迎えています。大型連休も終わり、これからしばらく運動会に向けての練習が続きます。お子様の体調管理をご家庭でもよろしくお願いいたします。

さて、5月2日より、・田養護教諭の代員として、引き続き松田楓養護教諭に勤めてもらうことになりました。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今回の臨時号は、PTA 総会で校長より簡単に紹介した学校経営重点計画の詳細を掲載しました。裏面は今年度の校舎配置図です。今回はわかりやすくするため B4 版で印刷しております。

清和中学校スクールカウンセラーの本校での日時が、18日(金)の午前に決まりました。

平成 24 年度 学 校 経 営 重 点 計 画

1 学校教育目標

心豊かで たくましく生きる子どもの育成

2 目指す姿(学校像・幼児児童生徒像・教師像)

「集うものすべてが学び合い、育ち合う場としての学校づくり」

「学び」を中心とする授業の創造を通して、知を創造し豊かな人間性を育む学校

よく聴き、進んで学ぶ子ども(学び方) 助け合い、支え合い、思いやりのある子ども(生き方) 善悪を判断し、心身共に健やかで最後までやり通す子ども(行い方)

児童とともに成長する教師 前向きに取り組み誠実で同僚性を大切にする教師

3 現状と課題

本校の児童は、落ち着いて学習に取り組み、相手の話に耳を傾けたり考えを繋いでいったり教え合ったりすることができる。しかし、生活全般において、自分の考えや思いを言葉で上手に伝えあうことが苦手である。体力においては、昨年度、各学年の実態に応じた取組が効果的だったので、本年度も、各学年で課題とする体力アップを目指していく。

4 目標

[中期経営重点目標]		[評価指標]
く聴き、進んで学ぶ子どもの育成 道徳性・社会性の育成 体力・運動能力の向上		H24年度末アンケートで児童。保護者とも85%以上 H24年度、各学年体力テストから課題とした項目の数値を上回る
短期経営重点目標(3年目)	評価指標	主な具体的方策
自分の考えや思いを言葉で伝える力をつける。	「自分の考えを伝えることができる」児童の割合を85%以上にする(研修部の児童アンケート)	教師がしゃべりすぎないように心がけ、子どもの思いや考えを自分の言葉で語るよう、じっくり待ったり支援したりし、自分の言葉で語れたことを認める言葉かけをする。(研修部提示の研修計画) ----- 校内の授業研究として一人1~2回授業をし、全員で振り返りをする。(研修部提示の研修計画) ----- ペア学習やグループ学習を取り入れ、子ども同士が聴き合い、学び合う場を設定する。(研修部提示の研修計画)
気持ちのよいあいさつをする力を付ける。	「あいさつができるようになった」児童の割合を80%以上にする(学年末児童アンケート)	教職員が率先して毎日「笑顔であいさつ」をする。 ----- 学校朝会、生活月目標、朝の会、道徳の授業等であいさつについての指導をする。(生徒指導部、教務部提示の計画) ----- 相手に気持ちを伝えることの大切さ、あいさつの仕方を啓発していく。(放送、視聴覚機器等を活用) 積極的にあいさつができるよう、地域や家庭との連携を図る。(安全対策協議会やPTA運営委員会での啓発)
運動する機会を作ることで、体力の向上を図る。	体力テストから課題となった項目の数値が、次年度には上回る。(各学年で目標数値を設定する)	児童の運動する機会を確保するため、毎週月水金の大会日に外で遊ぶようにする。(保体部提示の体力づくり年間計画)「アクティブチャイルドプログラム」のDVDを年度当初に視聴させる。 ----- 11,12月に「全身持久力」を高めるためのジョギングタイムと、1,2月に「筋持久力」を高めるための縄跳びタイムを毎週2回大会日に取り組む。(保体部提示の体力づくり年間計画) ----- 体力テストから課題となる項目を学年毎に決定し、その項目の力を向上させる準備運動を体育の時間に毎回取り入れる。